

福岡大学病院

研修医 上野 茂紀 2016年8月

福岡大学病院研修医2年目の上野茂紀と申します。

2016年8月の一ヶ月間、初期臨床研修プログラムの地域医療として、出水総合医療センターで研修をさせて頂きました。

鹿児島には行ったことがないということやレンタカーを貸して頂けるということでほぼ初めての運転をわくわくしながら初日を迎えたのを覚えています。出水市は料理の美味しいお店がおおくまた焼酎が実際おいしかったです。夏休み中の学生さんが多かったですがすれ違えば挨拶をしてくれるという驚きもありました。

研修では地域医療ということで院外では診療所で診察、訪問診療、往診、へき地医療や地域保健を院内では選択した科、多職種連携について勉強させていただきました。

診療所では大学病院であまりやる機会がない、外来やエコー、内視鏡検査などこの1年半での経験以上のことをさせて頂きました。外来は幅広い疾患の知識がないと滞ってしまうと感じました。また診療所の先生方はコミュニケーションの取り方が上手く患者さんの笑顔がとても多いなと感じましたし、信頼関係を得ていく上で必要不可欠なスキルだと実感しました。

往診やへき地医療では出来る医療が本当に限られており、身体診察の重要性や緊急性の見極め、迅速な連携が必要だと体感できました。

院内研修では消化器内科研修と多職種（看護・臨床検査・臨床工学・リハビリテーション・医療安全管理・地域医療連携）との連携を勉強させて頂きました。仕事において関わりあいのある職種のことを知るというのは円滑に物事を進めるうえで必要なことであり、今回それをほんの少しではありますが知れたことはとても有意義でした。

この地域医療を通じて、プライマリケアの重要性や在宅医療、慢性疾患の管理、患者さんのQOLとは・・・などいろんなことを勉強させてもらいました。そして今までがほんとに無知だったなあと実感しました。今後のモチベーションアップにとってもなった1ヶ月でした。

最後になりましたが大変お忙しい中、研修に時間を割いて下さった方々に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。